



認定番号：144 柿崎住吉神社例大祭

(ジャンル：文化)

江戸時代より続くとの伝承が残る、柿崎地域の祭りです。昭和 37 年に刊行された『伊豆下田』（地方史研究所）によると、昭和 32 ～ 35 年度に実施した聞き取り調査において、地区の古老の話が掲載されており、その当時でおおよそ 40 年は同じ形態で祭事を行っていたとのこと。現在では一部、この聞き取り調査当時の内容から簡略化している部分もありますが、地域住民が愛する、地域に根付いた祭事であることが評価されました。

(浜崎地区柿崎 柿崎住吉神社周辺)



認定番号：145 秋葉山（秋葉神社）からの眺望

(ジャンル：自然)

参道を登り、鳥居をくぐって頂上に到達すると下田湾を一望できます。山頂に鎮座する秋葉神社は、毎年 1 月に神事が執り行われるほか、地域住民による清掃活動が行われるなど、地域に愛される神社、場所であることが評価されました。

(浜崎地区柿崎 下田東中学校隣接)



認定番号：146 宝珠寺 山門 (ジャンル：歴史)

国道 414 号から稲梓地区落合の集落を抜けた右側に仏厳山宝珠寺（曹洞宗）があります。山門は質素で簡素な造りで、屋根と梁の間にある墓股の装飾が特徴的です。四面の内、三面に装飾が施され、まず北西・外側の装飾は、鶴と玄武と思われる浮彫が施されています。続いて北西・内側には、タケノコと農夫と見られる人物が彫られ、これは二十四孝の“孟宗”の逸話を表していると思われます。また、南西側には象と思われる動物 2 体と農夫と見られる人物が彫られ、こちらも同じく二十四孝の“大舜”を表していると思われます。

落合地域の繁栄と、子ども達の成長を願い、地域と共に歩んできた歴史が評価されました。

(稲梓地区落合 宝珠寺参道)

※中国古来の代表的な孝子 24 人の伝記と詩とを記した教訓書。元の郭居敬の原作といわれる。虞舜を筆頭に呉孟、王祥、郭巨、老莱子、孟宗、黄庭堅らの 24 人。日本にも伝わり、御伽草子をはじめ江戸時代に種々の刊本や和訳本がでた。『本朝廿四孝』や井原西鶴の『本朝二十不孝』などにも影響。(百科事典マイペディア)



＜山門北西・外側＞ 鶴と玄武



＜山門北西・内側＞ 二十四孝“孟宗”



＜山門南西側＞ 二十四孝“大舜”



認定番号：147 辻の段からの眺望 (ジャンル：自然)

辻の段は、下大沢集会所から相玉方面にかつては通じていた旧道沿いに道祖神が祀られた場所です。そこからは、下田市南部および南伊豆町の地形を見ることができ、天気が良ければ伊豆諸島も眺めることができます。春には、桜の花見をしながら景色を堪能できる点が評価されました。

(稲生沢地区下大沢)



認定番号：148 わさび田の風景 (ジャンル：文化)

平成 30 年に「静岡水わさびの伝統栽培」として、世界農業遺産に認定され、下田市も認定された栽培地域のひとつです。畳石式のわさび田の風景は、斜面上の土地を有効活用した伊豆特有の文化的景観であり、こうした点が評価されました。

(稲梓地区)

※世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を、国際連合食料農業機関（FAO）が認定する制度。



認定番号：149 相玉のスダジイ (ジャンル：自然)

スダジイは、周辺地域の潜在自然植生における代表種です。相玉のスダジイは、市内最大幹周（9m）を有しています（「環境庁（1991）：日本の巨樹・巨木林 東海版 第 4 回自然環境保全基礎調査」より）。これは県内でも稀で、多くの人がその価値を認識し、適切な保存を行うことで次世代に残していきたい自然景観である点が評価されました。

(稲梓地区相玉 蓮華寺奥)



冬



※